

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料  
平成21年6月10日  
都市経営局基地対策課担当課長  
佐藤康博 電話 671-2060

## 旧小柴貯油施設における土壌調査（概況調査）の結果について

～南関東防衛局から調査報告書を受理しました～

昨日6月9日、国（南関東防衛局）から、旧小柴貯油施設における概況調査の結果について、報告書を受理しましたので、お知らせします。報告書の全文は、南関東防衛局ホームページ（URL <http://www.mod.go.jp/rdb/s-kanto/>）に掲載されます。また、本市においても、基地対策課及び金沢区役所区政推進課の窓口にて閲覧ができます。

概況調査では、揮発性有機化合物として主に「ベンゼン」が検出されましたが、汚染の有無の判定は、今後実施される詳細調査の中で行われます。重金属等としては、主に「鉛」が基準を超過して検出されており、汚染範囲の特定が同様に詳細調査の中で行われます。

なお、地下水の汚染はありません。

物質は、主にタンクや送油管付近で検出されており、敷地全体への拡がりは見られません。また、検出された箇所のお多くは地下タンクの底部付近やトンネル下部の地下部分に存在しています。

### 1 概況調査について

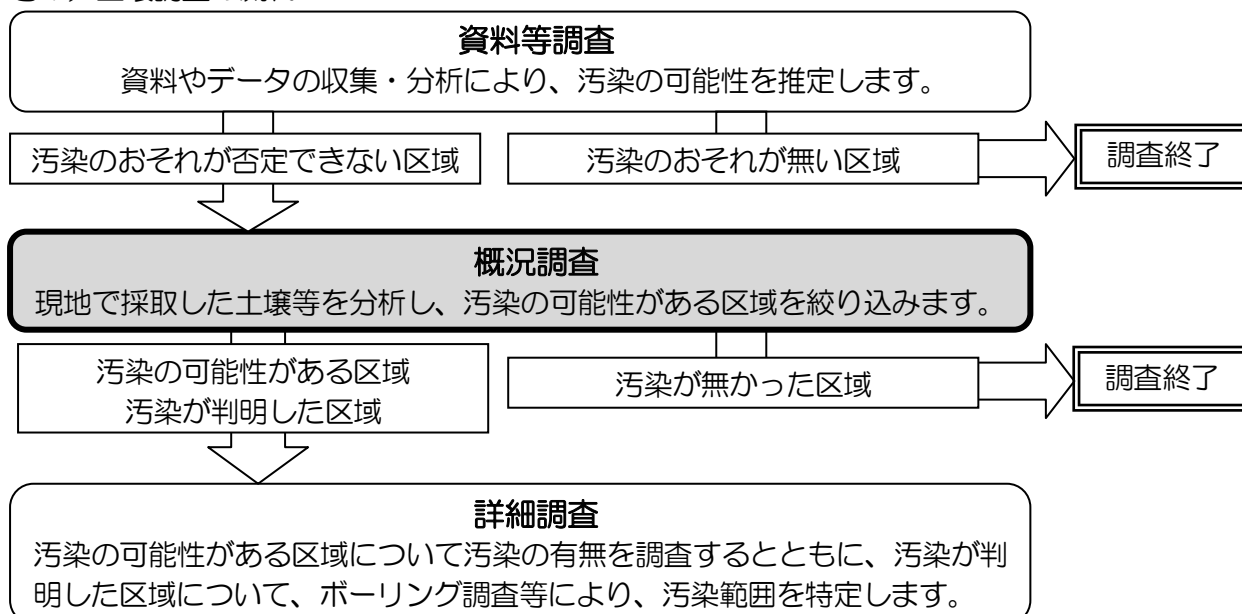
本市では、国に対し、旧小柴貯油施設における土壌調査の実施について働きかけを行ってきました。南関東防衛局は、平成19年11月から、土壌調査の第1段階の調査である資料等調査に着手し、平成20年5月19日、本市に対して調査結果の報告が行われております。

今回の概況調査は、第2段階の調査に相当し、資料等調査において「汚染のおそれが否定できない」と判定された区域において、土壌や地下水の採取・分析により、汚染状況を把握したものです。

### 2 添付資料

「旧小柴貯油施設土壌汚染調査（概況調査）」の概要

（参考1）土壌調査の流れ



（裏面あり）

(参考2) 土壌調査(南関東防衛局実施)の経過

平成 19.11.28~20.2.29 資料等調査(20.5.19に本市に報告)

平成 20. 3.28~21.3.31 概況調査(21.6.9に本市に報告)

(参考3) 旧小柴貯油施設の概要

横浜市では、平成 19年3月に策定した「横浜市米軍施設返還跡地利用行動計画」において、旧小柴貯油施設については都市公園(開港 150周年の森)として整備を目指すこととしています。

接收年月日 昭和23年10月3日

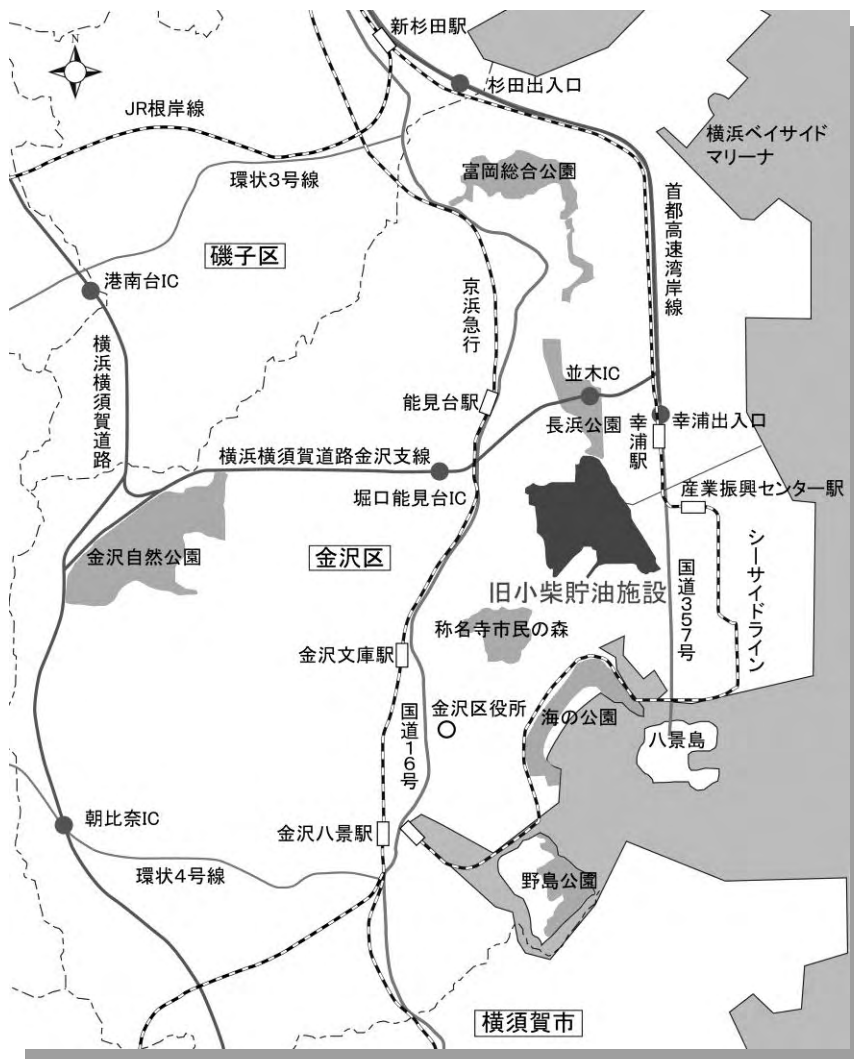
返還年月日 平成17年12月14日

所在地 金沢区柴町、長浜、幸浦二丁目、並木三丁目

面積 52.6ha(国有地97%、民有地2%、市有地1%)

経過 昭和 23.10.3 旧日本海軍の施設を米軍が接收  
昭和 56.10.13 6号タンクが爆発し、火災が発生  
平成 16.10.18 日米合同委員会で、一部(約10ha)返還の方針が合意された  
平成 17.10.18 日米合同委員会で、小柴貯油施設の陸地部分全域及び制限水域の一部に係る返還予告等が合意された

平成 17.12.14 陸地部分全域と制限水域の一部が返還された



旧小柴貯油施設位置図